

Nasushiobara International Association News

Vol.46

国際交流協会だより 2017.7.15

発行/那須塩原市国際交流協会広報委員会(事務局) 那須塩原市企画部秘書課内 Tel 0287-62-7324)

協会 新方向へ 5 委員会設立で如何に動くか

企画委員会・語学委員会・広報委員会の3委員会で活動してきた協会は、今年度より、昨年度の「姉妹都市締結を機会に「リンツプロジェクト」と語学への関心が高まってきた背景を踏まえて、従来の語学委員会を「日本語教室委員会」と「外国語委員会」に分けて活動することになりました。

新体制で

- ◆ 会員 87 名
- ◆ 団体会員法人 10 団体
- ◆ 学校会員 5 校
- ◆ 年会費 3,000 円



理事長 大島三千三

事務局

- ◆ 課長補佐兼都市交流係長 佐藤知子
- ◆ 都市交流係主事 荒川美緒



- 臼井優子副理事長
- ・書記(理事会関係)
 - ・企画 日本語 広報担当

那須塩原市国際交流協会は、今年24周年を迎えます。発足以来、国際交流協会に携わりご支援、ご協力頂きました市民の皆様、各団体関係者の皆様には大変有難うございました。

国際交流協会では、那須塩原市に在住する外国人のための日本語教室や交流を目的とした事業を開催しております。海外姉妹都市リンツ市との交流促進に取り組んでまいりました。今年も市民の皆様の応援をよろしくお願いいたします。



- 山本はるひ副理事長
- ・会計(監査関係)
 - ・リンツプロジェクト担当

企画委員会

- ◆ 委員長 田嶋 健一 副委員長 八巻 恵美子、浜中 潤江
- 委員 吉川 正大、青山 吉博

☆ 若者を対象とする ha·na·shi·ba (交流の場) を年3回実施。市の国際交流員を交え、または在住外国人による民族セミナー(生の声を聴き一緒に楽しむ)を行っていく。

☆ 皆で、ha·na·shi·ba を作り上げていくことを目標とする。1月には恒例としたハッピーデー(協会員親睦会)を行う。

3月には国際交流協会の未来を考えるミニシンポジウム。以上の事業を通して、在住外国人、地域住民とのコーディネーターとしての役割を果たしていきたい。



外国語委員会

◆ 委員長 青山吉博
副委員長 吉川正大



● 第1回目と第2回目のドイツ語教室を比較考慮しまして、現状認識を参加人数から考察します。

1. 昼間 (1-40%減員) 2. 夜間 (2-25%減員) 3. サロン (3-100%減員)。3講座の推移は、上記の状況です。今後の継続性を鑑みますと、創意工夫が必要と思います。フロリン先生との交流を深めながら、国際奉仕を考えて参ります。

● 今後の目途とロードマップ

1. 短期目標 (2017)・・・ドイツ語教室を活用し、オーストリア国、リンツ市との国際親善に努める

2. 中期目標 (2017-2018)・・・会員より要望の多い、英語教室の設置を進める。現在、面接などを含め、実施に向け準備しております。

3. 長期目標 (2017-2020)・・・オリンピックイヤーを控え、以前から存知存在していたフランス語教室の回復を図る。以て、英、独、仏 3カ国語を市内各所のリーフレットをはじめ、多くのパブリシティーにおいて具現化する。

◆ ドイツ語講座
(全16回) ・火曜日 午前10時～11時30分
・木曜日 午後7時～8時30分
国際交流員・フロリンさんは週2回 担当してられます。

日本語教室委員会

◆ 委員長 大島翔平 副委員長 田嶋俊一

日本語教室委員会責任者の大島翔平です。私は語学委員会時代と合わせて4年前から責任者として日本語教室に携わっております。年々、日本語教室の参加者が増えていき、就任当時は年間約250名ほどだったのですが、昨年度は700名を超える参加者がありました。今後も学習者が通っていて良かったと思って頂けるような日本語教室を目指し、運営を行っていきたいと思います。



広報委員会

◆ 委員長 臼井優子
副委員長 樽井正、五十川節子



これまでの広報正副委員長とも退会となり、ぽっかり空いた広報委員会。総会后何とか入会し、携わって下さる方9名で全くの新体制設立。「数は力!力は何かを動かす!!!」と信じ一年間右往左往しながら、何とか心にコツンと残るそんな仕事をして行けたら・・・と考えております。協会と会員(市民)の架け橋は広報から。

--- 頑張ります。

- ◎ 会広報紙「協会だより」を年4回発行します。
- ◎ HP とたより facebook のツールのより効果的な掲載を考えて作成していきます。
- ◎ 「会員紹介」「高校生国際交流関係」「在住外国人」コーナーを設けます。
- ◎ 保健関係日用品(タオル・歯ブラシ)古本、書き損じのハガキで途上国支援。
- ◎ イベント内容によって、市広報紙、新聞社、HP、Facebook など効果的な広報に心がけます。

リンツプロジェクト

◆ 委員長 和田祐子 副委員長 金子哲也

この6月でオーストリア・リンツ市との姉妹都市締結一周年を迎えます。今後両市の姉妹都市関係が有意義に継続発展して行くには、市民レベルでの交流も不可欠です。今後は市民がいろいろな形での交流を考えるとされます。そこで分かり易い窓口機能的な活動を受け持ってみたらと考えます。

今年は、姉妹都市一周年記念、「フェーリクス ディーックマン木版画展」サポート、海外姉妹都市交流事業の報告会、ホームステイ受け入れ事業を考えています。

～ 那須塩原市国際交流現地支援員 ～
「津也子・グーテンブルナー氏」との懇親会



6月30日、これまでのリンツ市派遣者や本年度派遣者により、津也子様を囲んでの懇親会が市長はじめ30余名で開催されました。

● 5委員会ロードマップ

	4月～7月	8月～10月	11月～1月	2月～3月
企画委員会	・チーズ作り体験 (厚崎公民館)	・ミニ・コミュニティ ミュージック&ダンス (石山) 協会員&市民	・ミニ・コミュニティ 民族の文化 (石山) 協会員	・ミニ・コミュニティ シンポジウム (桜和学舎)
外国語委員会	・フローリン先生との交流 ・オーストリアとの親善	・英語教室の開設 ・リーフレットなどの啓蒙 活動 (随時)	・フランス語講座の復活	
日本語教室 委員会	・毎週火曜日…東那須野 ・毎週木曜日…いきふれ	・日本語養成講座開講	・なしお博参加 (学習者作品展示)	
広報委員会	協会だより第46号発行 HP更新・アンケート調査	・第47号発行 ・次世代支援 (スイーツ企画)	・第48号発行	・第49号発行
リンツプロジェ クト委員会	姉妹都市一周年記念事 業	姉妹都市派遣&報告会 ホームステイ 受け入れ事業検討		



アメリカ大学生と黒高生とのフリートーク

● 春の異文化交流会

5月 於:いきふれ

アメリカ大学生 (オースティンピー テネシー州立大学) による一人一人のプレゼン (自己紹介)、黒高生の「高校生活」と「まちづくりへの思い」プレゼン。その後の話し合いは、熱気に溢れたものでした。詳しくは市協会 HP をご覧ください。

市協会 HP <http://nasushiobara-ia.jp>

なお、7月の「木版画展」関係も HP にアップ済みです。ぜひご覧ください。多数のご鑑賞・観覧をお願いいたします。

次世代へ響く「高校生は今！」



栃木県立那須塩原高等学校
~Discover the Best of Yours~

「拓陽高生がニュージーランド研修へ」という情報を得、
6月21日(水)取材訪問。農業高校生を対象に「若い時期に海外研修を」

「海外の農業体験を！」と、ファームステイを実施してきたようです。オランダ研修から、ニュージーランド・オー
克蘭ド市へのファームステイへと変更して数年。

拓陽高生は、6名が参加。(県内全員で17名)前日の20日には鹿沼農高で団結式があったといひます。
6名に海外研修の抱負を語っていただきました。

◇ニュージーランドの農業を実際に体験したい。わくわくする。◇日本を外から見てみたい。今度は自分たちが「外
国人となる」コミュニケーションを図ってきたい。

◇視野を広げ、実家の農業を手助けしたい。

◇英語が伝わるかどうか、実力を試したい。

◇現地のなまりも聴き取り、言葉の壁を乗り越えたい。

「将来の夢」は・・・

○今回の体験を生かし、規模の拡大を図っていききたい。

○体験を生かし、畑・酪農を日本に合ったように
生かしていききたい。

○バイオテクノロジーを学びたい。

○薬剤師をめざし、英語力を付けたい。

(普通科所属の生徒)

○将来は、発展途上国に寄与する人になりたい。

○グローバル化を図り、六次産業まで考えた

酪農経営がしたい。

梅雨とは思えぬほどのどしゃ降りの日。“この海外研修は“きっと6名の「夢を動かす」に違いない”との確信は、心地
よい言葉と笑顔に裏打ちされていました。校門を後にする頃には雨も止み、甘い花の香りが辺りに広がっていました。



会員紹介

室井 Leny さん



*英文

Ms. Leny F. Muroi

Born in Republic of the Philippines, BSc. University of the Philippines.

Living in Japan for 30 years, she studied in “IKIFURE Nihongo class” and qualified as a caregiver and home helper. She lives together with her son’s family and manages Chiropractic treatment place next to her house. Vice president of the Nippon Manila Kai and Emergency Supporter of Tochigi-ken. She always gives a nice smile and loves sushi and fish dishes.

現在、介護士、カイロプラクティック療法士として活躍しておられます。フィリピン生まれ。フィリピン
大学卒・理学士。その後来日し30年余経過。マニラ会副会長。「いきふれ日本語教室」で学びな
がら、資格を取得。国連NGO主催の日本語弁論大会で栃木県代表となる。

息子夫婦、孫娘と同居、自宅の脇に施療院を運営している。県協会委嘱「防災サポーター」も
引き受けネットワークづくりの核として活躍。好きな食べ物はお寿司と魚料理。

編集後記

広報委員会は、本年度新たなメンバー9名で誕生いたしました。全く協会について知らなかった方、気にはなっていたが
自分は・・・と思っていた方など・・・春風はベストメンバーをプレゼントしてくれました。本号は、協会の具体的取組み
に紙面を割き、HPとの関連で、掲載内容が重複しないように配慮しました。高校生インタビューで訪問、HPでお世話になっ
ている栃プロ訪問交流など「足で稼ぐ広報」を展開して参りました。国際交流の核となる「人との繋がり」で、第46号発行
に至りましたこと心より感謝申し上げます。会員が相互に関わり発行まで会員だけの力で仕上げたことは、大きな成果で、「自
立した広報」へ動き出したと自負しております。会員の皆様には、お手数でも広報関係のアンケートを同封させていただきます。

梅雨の晴れ間空見上げると、夏の雲。足元にはつゆ草の海の色。今年は集中豪雨と猛暑との予報も・・・災害ニュースは
辛いです！どうぞ皆様ご自愛ください。協会だよりが会員同士を繋ぐ一助になればと願いつつ・・・(y・u)

那須塩原市国際交流協会(事務局:那須塩原市秘書課都市交流係)
栃木県那須塩原市共藝社108-2 Tel.0287-62-7324 / Fax0287-63-1240

